

ふりがな 氏名	はせがわ あきら 長谷川 晃	職名	准教授
取得学位	博士（人間科学）・早稲田大学大学院人間科学研究科		
学歴	早稲田大学大学院人間科学研究科人間科学専攻臨床心理学コース 博士後期課程 単位取得満期退学		
受賞歴等	日本パーソナリティ心理学会第18回大会 大会発表賞 2009/11 Outstanding Presentation Award at the 3rd Asian Congress of Health Psychology 2007/9		
所属学会	日本心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本感情心理学会、日本認知・行動 療法学会、日本認知療法・認知行動療法学会、日本うつ病学会、日本行動医学会、 日本健康心理学会、日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本心身医学会、 日本ストレス学会、International Society for Research on Emotion		

### 教育活動

<p>(主な担当科目)</p> <p>2019年：(学部) 感情・人格心理学、人格心理学、専門演習ⅡA・ⅡB (大学院) 臨床心理学特論、臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)、課題研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>2018年：(学部) 感情・人格心理学、人格心理学、専門演習ⅡA・ⅡB (大学院) 臨床心理学特論、臨床心理実習、課題研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>2017年：(学部) 人格心理学、専門演習ⅡA・ⅡB (大学院) 臨床心理学特論、臨床心理実習、課題研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>2016年：(学部) 認知行動療法、人格心理学、卒業論文 (大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、課題研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>2015年：(学部) 認知行動療法、臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱ、心理学課題研究Ⅰ・Ⅱ (大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、特別研究</p> <p>2014年：(学部) 性格心理学、認知行動療法、心理学実験 (大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、特別研究</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年4月～ 修士課程の大学院生が心理臨床センターで行っている実習や学外で行っている実習のスーパービジョンを担当</li> </ul>
--

### 研究活動

<p>(著書等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②-19 うつ病の認知モデルの基礎研究、⑤-31 CBTの展開：うつ病に対する新たなアプローチ 日本認知・行動療法学会(編) 認知行動療法事典 丸善出版 分担執筆 印刷中</li> <li>・第3章 感情と認知的評価 杉浦義典(編) 公認心理師の基礎と実践 第8巻 感情・人格心理学 遠見書房 分担執筆 印刷中</li> <li>・17章 青年期・成人期の感情障害、トピック 日本における抑うつと反すうの関連 日本感情心理学会(企画) 有光興記・石川隆行・大平英樹・榊原良太・澤田匡人・中村真・樋口匡貴・武藤世良・湯川進太郎(編) 感情心理学ハンドブック 北大路書房 分担執筆 印刷中</li> </ul>
--



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・日本語版抑うつ状態チェックリスト改訂版 鈴木公啓・荒川歩・友野隆成・太幡直也（著） パーソナリティ心理学入門 ナカニシヤ出版 分担執筆 2018/10
- ・第10章 適応・健康：感情心理学の視点から 島義弘（編） ライブラリ 心理学を学ぶ 6. パーソナリティと感情の心理学 サイエンス社 分担執筆 2017/4

（論文等）

- ・ How autistic traits, inattention and hyperactivity-impulsivity symptoms influence depression in the nonclinical university students: Mediating role of depressive rumination. *Current Psychology*. 著者：Horibe, K. & Hasegawa, A. in press
- ・休職中の息子への対応に悩む父親の心理面接 東海心理臨床研究, 14. 著者：下野有紀・長谷川晃 印刷中
- ・不登校状態にあった高校生男子が社会適応に向かった事例 東海心理臨床研究, 14. 著者：渡辺将成・長谷川晃 印刷中
- ・大学生の両親に対する行動と両親からのソーシャル・サポート、家族機能、抑うつに関連 感情心理学研究, 26, 36-46. 著者：田中奈津美・長谷川晃 2019/3
- ・親の養育態度が大学生の不登校傾向に及ぼす影響：賞賛獲得欲求・拒否回避欲求および対人ストレスを媒介変数として 東海学院大学紀要, 12, 29-39. 著者：堀綾華・長谷川晃 2018/12
- ・ Depressive rumination and urgency have mutually enhancing relationships but both predict unique variance in future depression: A longitudinal study. *Cogent Psychology*, 5: 1450919. 著者：Hasegawa, A., Kunisato, Y., Morimoto, H., Nishimura, H., & Matsuda, Y. 2018/3
- ・ How do rumination and social problem solving intensify depression? A longitudinal study. *Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy*, 38, 28-46. 著者：Hasegawa, A., Kunisato, Y., Morimoto, H., Nishimura, H., & Matsuda, Y. 2018/3
- ・子どもの不登校を主訴とする両親に対する面接 東海心理臨床研究, 13, 13-23. 著者：西平愛果・田中奈津美・長谷川晃 2018/3
- ・不登校が持続する中学生に対する面接過程：ラポール形成の重要性に着目して 東海心理臨床研究, 13, 2-12. 著者：田中奈津美・西平愛果・長谷川晃 2018/3
- ・共感的感情反応と向社会的行動および攻撃行動の関連：普段経験されている感情の影響を統制して パーソナリティ研究, 26, 283-286. 著者：堀井美里・長谷川晃 2018/3
- ・大学生の学業におけるストレス対処がひきこもり親和性に及ぼす影響：コーピング方略と援助要請行動を取り上げて 認知療法研究, 11, 80-91. 著者：下野有紀・長谷川晃 2018/2
- ・自己開示と被開示者の反応が抑うつに与える影響 東海学院大学紀要, 11, 63-72. 著者：塚本亮太・長谷川晃 2017/12
- ・マインドフルネス特性と注意制御が共感性に及ぼす影響 東海学院大学紀要, 11, 51-61. 著者：土原浩平・長谷川晃 2017/12
- ・自己反すうと自己内省が社交不安に及ぼす影響：4週間の間隔を空けた縦断的検討 感情心理学研究, 25, 17-25 著者：小澤崇将・長谷川晃 2017/10



- ・楽観性と悲観性がコーピング方略に与える影響：重要性の異なる2場面を設定した上での検討 カウンセリング研究, 50, 73-80. 著者：渡辺将成・長谷川晃 2017/5
- ・大学生の一般的信頼が精神的健康の改善を導くメカニズム：信頼の置き放ち理論に基づく検討 感情心理学研究, 24, 92-100. 著者：吉本貴博・長谷川晃 2017/4
- ・親の夫婦関係の認知及び養育態度と自尊感情の関連 東海心理臨床研究, 12, 12-20. 著者：南谷歩・長谷川晃 2017/3
- ・抑うつエピソードの経験者と未経験者における社会的問題解決と反すうの差異：日本人大学生を対象として パーソナリティ研究, 25, 162-165. 著者：長谷川晃・服部陽介・西村春輝・丹野義彦 2016/11
- ・過剰適応の背景要因：情緒的依存欲求, 賞賛獲得・拒否回避欲求, 社会的自己制御を取り上げて 東海心理臨床研究, 11, 20-29. 著者：八木里依子・長谷川晃 2016/3
- ・Is trait rumination associated with the ability to generate effective problem solving strategies? Utilizing two versions of the Means-Ends Problem-Solving Test. *Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy*, 34, 14-30. 著者：Hasegawa, A., Nishimura, H., Matsuda, Y., Kunisato, Y., Morimoto, H., & Adachi, M. 2016/3
- ・大学生のネガティブな反すうが対人ストレスの増加に与える影響：攻撃性と社会的状況からの回避行動を媒介変数として 東海学院大学紀要, 9, 93-100. 著者：小澤崇将・長谷川晃 2016/2
- ・楽観性・悲観性が高い者が持つ先延ばし過程の意識の特徴 東海学院大学紀要, 9, 129-136. 著者：渡辺将成・長谷川晃 2016/2
- ・Prospective associations of depressive rumination and social problem solving with depression: A 6-month longitudinal study. *Psychological Reports*, 116, 870-888. 著者：Hasegawa, A., Hattori, Y., Nishimura, H., & Tanno, Y. 2015/6
- ・Depressive rumination and social problem solving in Japanese university students. *Journal of Cognitive Psychotherapy*, 29, 134-152. 著者：Hasegawa, A., Yoshida, T., Hattori, Y., Nishimura, H., Morimoto, H., & Tanno, Y. 2015/5
- ・不登校経験をもつ大学生の成長過程 東海学院大学紀要, 8, 141-154. 著者：浮田あすか・福島裕人・長谷川晃 2015/3
- ・Depressive rumination and past depression in Japanese university students: Comparison of Brooding and Reflection. *Psychological Reports*, 114, 653-674. 著者：Hasegawa, A., Koda, M., Hattori, Y., Kondo, T., & Kawaguchi, J. 2014/6
- ・反すうに関するメタ認知的信念 *Depression Frontier*, 12, 73-79. 著者：長谷川晃・宮崎球一・根建金男 2014/3
- ・賞賛獲得欲求と拒否回避欲求が演技行動に及ぼす影響：対人場面間での比較 東海心理臨床研究, 9, 2-9. 著者：長谷川晃・伊藤公子 2014/3
- ・制御焦点の達成・不達成が感情の質に与える影響の検討 東海心理臨床研究, 9, 30-39. 著者：渡辺将成・長谷川晃 2014/3



## 社 会 活 動

- ・2014年9月～2018年11月 日本感情心理学会編集委員
- ・2013年10月～2017年9月 日本パーソナリティ心理学会常任編集委員
- ・2013年9月～ 学外で勤務する臨床心理士を対象としたスーパービジョンを実施
- ・2012年10月～ 学術雑誌への投稿論文78本の査読を担当
- ・2011年12月～ 医療法人明萌会ウェルネス高井クリニックにて、来院する患者さんを対象としたカウンセリングを実施
- ・2011年7月～ 岐阜県職員を対象としたメンタルヘルスの講演を29回実施
- ・2011年6月～ 高等学校での出張授業を15回実施
- ・2011年6月～ 医療領域で活動する医師・臨床心理士を対象とした講演を4回実施
- ・2010年1月～ 作成した心理尺度の公開し、学外の研究者に対して40回程度貸し出しを行う



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY